

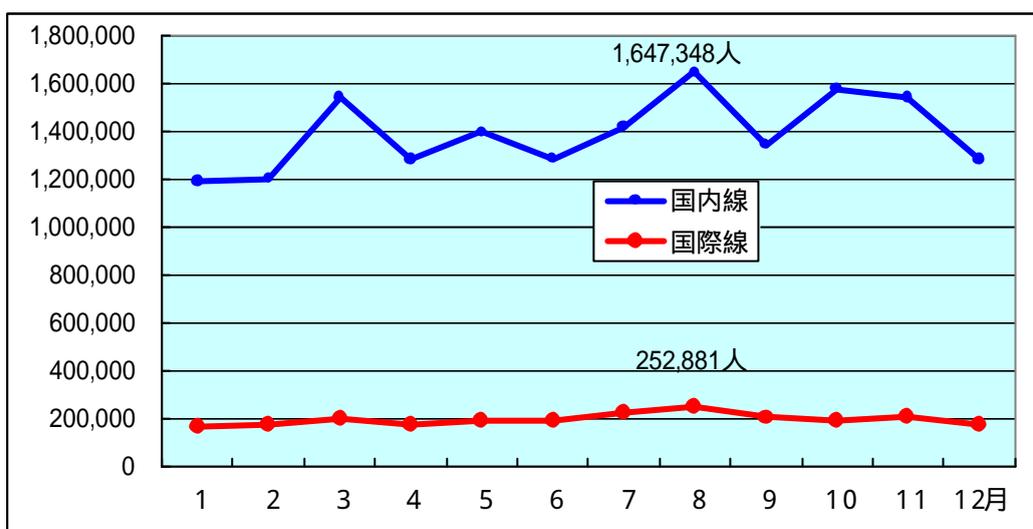
データで見る夏

1 交通機関の利用状況

この時期、夏休みを利用して、海外など長期の旅行に出かけられる方も多いでしょう。夏の「人の移動」を、交通機関の利用状況で見ってみました。

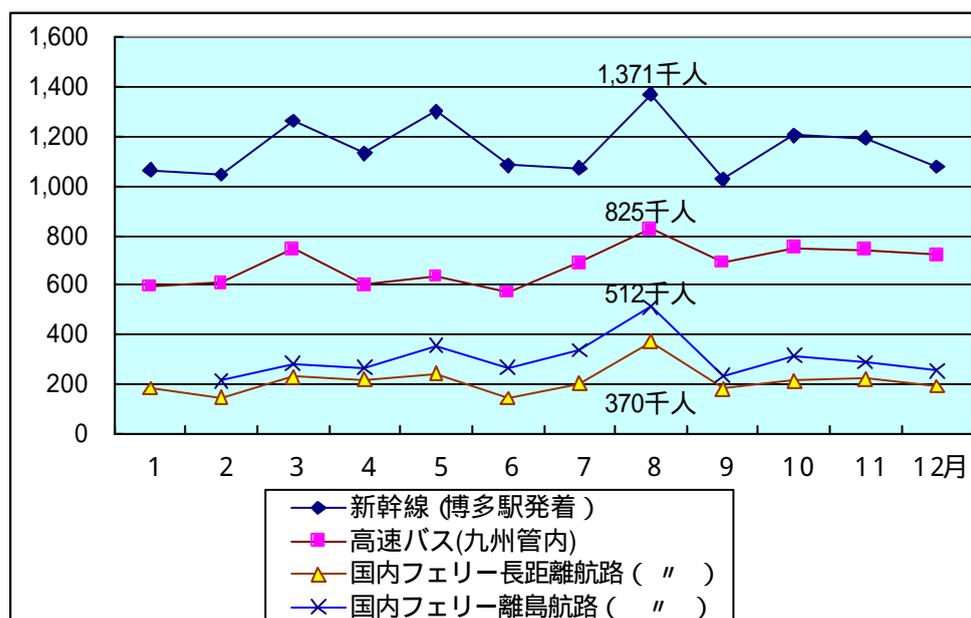
次のグラフは、平成11年の福岡空港の乗降客数を表したものです。

ゴールデンウィーク、秋の行楽シーズンにも山がありますが、やはり国内線・国際線とも8月の利用者がもっとも多くなっています。



運輸省（現：国土交通省）「平成11年空港管理状況調査」

新幹線や高速バス、フェリーはどうでしょう。平成12年の利用状況をグラフにしました。



九州運輸局「九州のうんゆ」

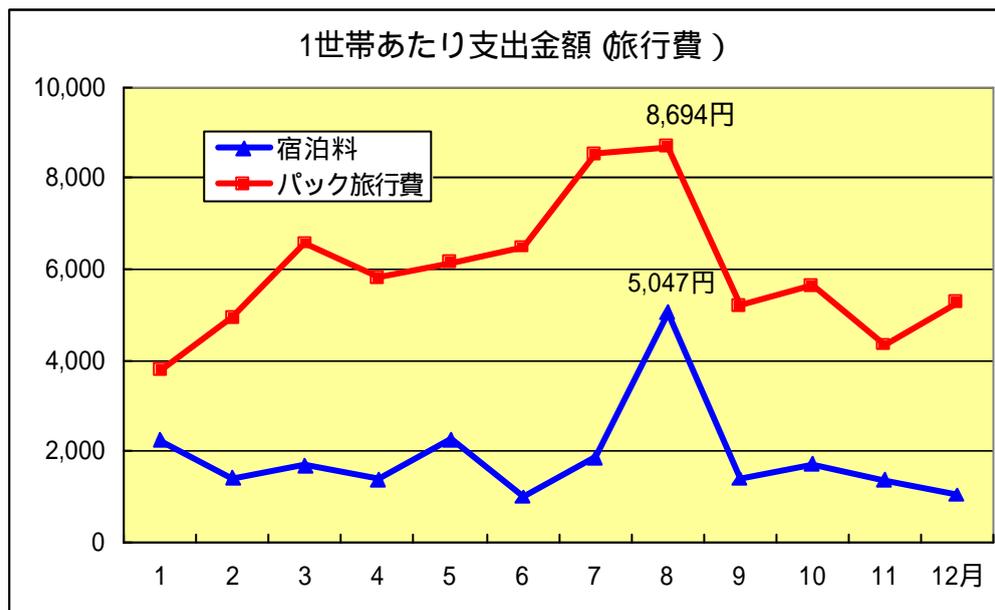
やはり、おなじような動きを示しています。

8月には、年間で最も多くの人々が、交通機関を利用して長距離の移動をしているということになります。

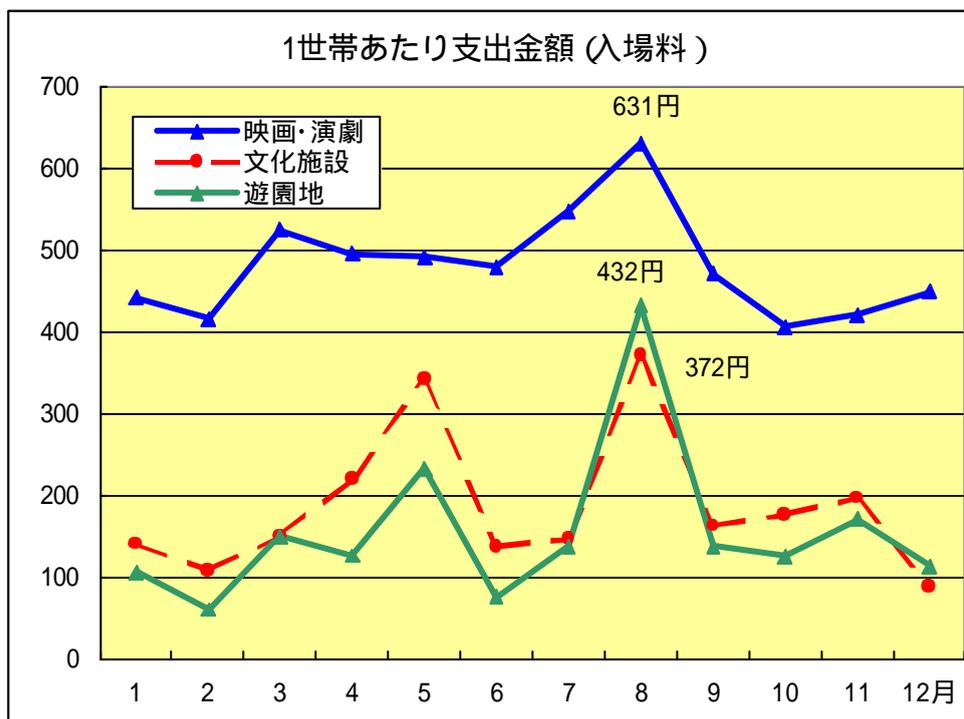
2 家計消費

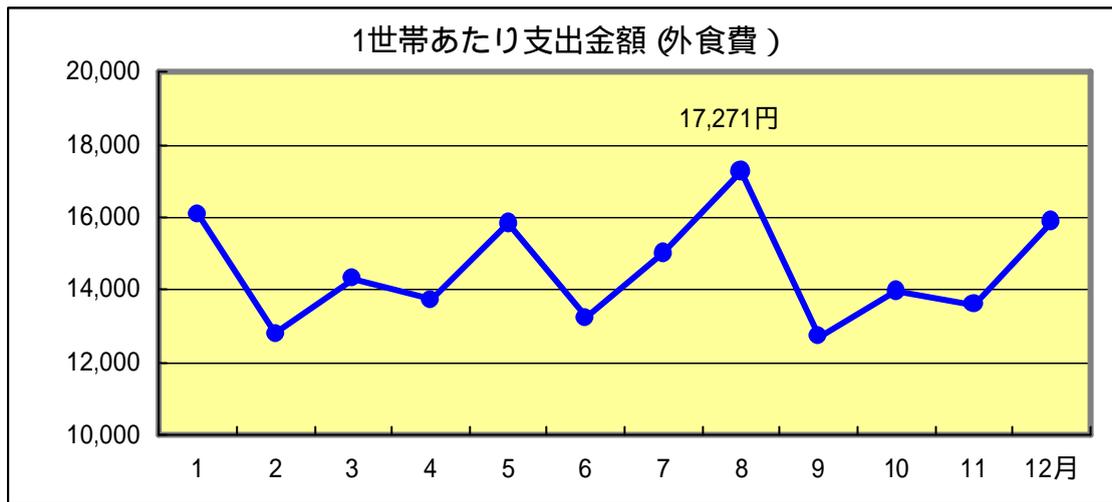
次に、家計調査を見てみましょう。夏に支出の多い費目をいくつか拾ってみました。

旅行費用、映画や遊園地等の入場料、外食費も、夏休み期間の8月がピークになっています。家計費の使い道も、夏は行動的になるようですね。



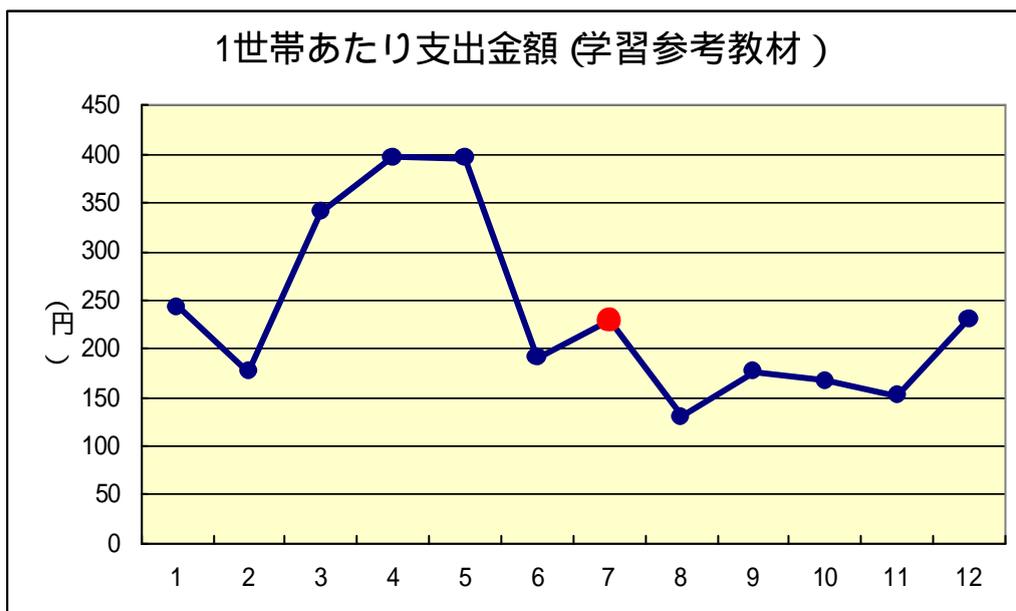
総務庁 (現: 総務省) 「平成12年家計調査年報」(以下同じ)





3 そして

最後に、おまけでもうひとつ。夏がピークではありませんが、こんなデータも。



平成12年の家計調査における学習参考教材の支出額です。新学期や受験シーズンに支出が多いのは当然ですが、それ以外にも山があるのに注目してください。

そう、7月です。夏休みに入るとき「さあ、やるぞ!」と参考書などを買い込むということのようですね。

学生の皆さん、夏休みの宿題や受験勉強、はかどっていますか？